4本足の空兵

Not your average wingman

August 10, 2015

Original text by Senior Airman David C. Danford
374th Airlift Wing Public Affairs

毎日、日が昇り始める頃、既に横田基地の憲兵隊員たちは基地を守るため、懸命に任務に当たっている。彼らの一日は、パトロールカー、防護装具、パートナーが割り当てられて始まる。一般の警察と同様に、軍のパトロール隊員は、パートナーと互いの信頼と敬意を築き、命をパートナーの手中に預ける。第374憲兵中隊の軍用犬ハンドラー（その犬の調教や訓練を行う隊員）たちは、軍用犬パートナーとの絆を常に高いレベルで持ち続けている。軍用犬は、仕事上のパートナーである以上に家族的な存在だ。

米空軍の犬舎指導員たちは、彼らが監督する人と軍用犬双方の個性を綿密に把握し、最高のチームが組めるように導く。そのことは、同中隊の軍用犬ハンドラー、ニコラス・ガルブライス軍曹と彼のパートナー犬のトパにもあてはまる。

車両の警備を終えた軍用犬トパを褒める第374憲兵中隊軍用犬ハンドラー、ニコラス・ガルブライス軍曹。褒めることは軍用犬の訓練の基本で、よい行動の認識を犬に持たせる。

「犬たちは人間と同じく、それぞれの個性を持っています。トパと私は、よく似た性格を持っています」「彼はとても活動的で、欲するものにまっしぐらに向かって行く性格だということを、私はよく理解しています」とガルブライス軍曹は言う。

ベルジャン・マリノアのトパは、ジャーマン・シェパードのようなアゴの力を持たないものの、彼の満ち溢れる活力と闘争心で同等な働きができる、とガルブライス軍曹は言う。ほかの全ての空軍の軍用犬たちと同じように、トパは米・テキサス州サンアントニオのラックランド空軍基地で訓練を受けた。トパの耳が半分にちぎれているのは、そこでの訓練の際に、他の軍用犬たちと格闘した時に表した闘争心の証。彼は犬本来の勇敢な行動を見せ始め、ガルブライス軍曹とパートナーを組むのにとても適していた。

「訓練のためにラックランド空軍基地に行った時、私に割り当てられた2頭の犬には、犬本来の積極的かつ攻撃的な傾向がありました」「思えば、それは始めからトパと仕事をしていく為に訓練をしていたかのように思います」とガルブライス軍曹は振り返る。

ガルブライス軍曹は、ハンドラーと犬の性格の相性は、チームを組む際に大切だという。お互いの性格の大きなズレは、個々が有能であってもパートナー同士の良い点が活かされず精彩を欠いてしまう。動物である相手の気持ち、好み、習慣を読み取れるようになることは、ハンドラーがパートナーとのギャップを埋める一つのカギだ。

ハンドラーの表情を見入る第374憲兵中隊軍用犬のトパ。任務中でない時も、常に軍用犬はハンドラーに注目し、指示を待つように訓練されている。

ガルブライス軍曹はトパの頭を撫でながら誇らしく「この子（トパ）はとてもエネルギーに満ち溢れています」「もしこのトパが、もう少しのんびりしたハンドラーが相手だったら、彼はとても退屈してしまうか、そのハンドラーのことを尻に敷いてしまうでしょう」と続けた。

勇敢でエネルギーに満ち溢れる性格はトパだけの性質でなく、ガルブライス軍曹もフィットネストレーナーと自称するスポーツ好きで、ストレス解消や体力維持のためにムエタイなどの格闘技を稽古していると言う。

「身体的、心理的、精神的、社会的に適応できることは、軍用犬にとって、とても大切なことです」「すべての空兵の概念は彼らにも当てはまるのです。なぜなら、彼らも我々同様、時によっては我々以上のストレスに耐えなくてはならないからです」とガルブライス軍曹は言う。

4本足の空兵と共に働いていく準備のため、ガルブライス軍曹は空兵たちが軍の基礎課程で教わる応急処置、要救護者の為の医療処置に準じる緊急特別任地における獣医医療処置法も学んだ。これも軍用犬を相手にすることが人相手と同等だというもう一つの例だ。しかし訓練課程において人同様の多くの共通点があるにしても、ハンドラーたちは常にパートナーが人間と異なることを心しておかなくてはならない。

「時に彼らが犬だということを意識しなくても、やはりものを嗅いでまわったり、マーキングをしたりと犬特有の行動をします」「しかし、いかなる人の前でもハンドラーに対して忠誠心を示すのは一団としての強い精神力によるもの」とガルブライス軍曹は言う。

トパは、ガルブライス軍曹が訓練課程を経た後にパートナーを組んだ初めての軍用犬で、共に働いて1年が経った。米空軍のハンドラーは、赴任先の基地で組み合わせを得た軍用犬とパートナーを組むが、ほかでは、いずれかのメンバーが軍から離れた時に初めてチームが解散する。

「横田は、私がK-9（軍用犬）ハンドラーとして働く初めての基地であり、トパは私にとって初めての軍用犬のパートナーです」「トパと巡り合えて嬉しいです。彼はとても素晴らしい犬です。誰もが自分の犬のことを同じように愛着を持ってそう言うでしょうが、心の底から私のパートナーは最高だと思っています」とガルブライス軍曹は語る。

セキュリティーチェックを行う第374憲兵中隊軍用犬ハンドラー、ニコラス・ガルブライス軍曹と軍用犬トパ。トパは、ガルブライス軍曹が訓練を経た後、初めてパートナーとなった軍用犬で共に働いて1年が経つ。